

平成23年度 個別施策管理シート

政策	5 安全な港	施策推進 責任者	港営部長 企画調整室長 建設部長
基本施策	08 施設の安全性・信頼性の向上		
個別施策	23 港湾施設の機能を維持・強化する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	港湾利用者、立地企業
	サービスの対象物(何を)	港湾施設
	意図(どういった状態にしたいのか)	機能を確保し、適正に管理されている
内容	港湾施設について法定点検や維持管理点検などの日常管理を適切に行い、必要な施設の改良・補強工事を早急に進めるとともに、維持管理計画の実施によって、港湾施設の機能を確保し、適正に管理していきます。	
目標	港湾施設の補修を計画的かつ効率的に実施するため、港湾施設の維持管理計画書を作成し、機能の維持・強化を図ります。	

成果指標名	年		実績等	H19	H20	H21	H22	目標 H24	指標の説明(式)
	実績	件							
必要な施設における維持管理計画書の作成(累計)	実績	件	0	4	500	976	1,362	24年度までに維持管理計画書を作成する施設数【内訳】 土木:1057 建築:202 機械:80 電気:23	
	達成率	%	0.0	0.3	36.7	71.7			
要求性能が確保されていないため使用停止した港湾施設の数	実績	件	0	0	0	0	0	老朽化等のため港湾施設条例上の使用停止を告示した港湾施設	
	達成度	○/×	○	○	○	○			

2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な成果指標 又は活動指標 (単位)	成果・事業費(千円・人件費込)			目標値 (年度)	H22年度事業に基づく評価結果(及びH23年度評価時点までの状況変化も反映)				
					実績		目標		H22年度 末までの 状況 ※1	事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4	備考(判断の理由・目標年次の変更等)
					決算額	決算見込額	予算額						
	(企画調整室) 計画担当	小型船だまり計画の策定(港湾計画の策定)(5082301)	官公庁船、業務船、作業船を機能に応じた適切な配置を検討するものです。	策定進捗率(累計)(%)	30	34	54	100(H25)	遅れ	継続	↗	➡	物流の環境変化に対応した港湾のマスタープランである港湾計画の改訂に向けて着実に準備する必要があるため。 ・目標年度を23年度から25年度に変更しました。
	(企画調整室) 事業担当	金城ふ頭岸壁(-10m)(改良)整備事業(5082302)	施設の安全性の確保を図るため、岸壁を改良します。規模:W54~W57 800m	事業進捗率(累計)(%)	91.2	100.0		100(H22)	完了				
	(港営部) 海務課	水域施設・係留施設の維持管理(5082303)	航路、泊地などの水域施設及び岸壁、係留浮標などの係留施設を巡視・点検し、経年劣化又は利用者による損傷・不良箇所を補修し、又は補修させます。	良好な係留施設及び泊地率(%)	82	75	100	100 継続事業	順調	継続	➡	➡	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	(港営部) 港湾管理事務所	荷さばき地の管理運営(コンテナターミナルを除く)(5082304)	施設の使用状況を把握し、無許可使用や施設への損傷の有無に注意を払い、損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を実施します。	施設提供率(%)	92.9	93.3	100	100 継続事業	順調	継続	➡	➡	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	(港営部) 港湾管理事務所	上屋の管理運営(5082305)	上屋の使用許可事務、及び施設の点検を実施し、不良箇所があれば補修を実施します。	修繕計画の進捗率(累計)(%)	11.1	53.3	66.7	100 継続事業	順調	継続	➡	➡	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	(港営部) 港湾管理事務所	臨港道路の維持管理(5082306)	臨港道路を巡視することにより、損傷した箇所があれば速やかに応急措置をします。	道路損傷等に起因する事故件数(件)	3	1	0	0 継続事業	順調	継続	➡	➡	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	(港営部) 港湾管理事務所(コンテナ)	荷さばき地の管理運営(コンテナターミナル)(5082307)	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル補修箇所について、利用者の要望を聞きつつ、優先順位を定め実施します。	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル内事故件数(件)	0	0	0	0 継続事業	順調	継続	➡	➡	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	(港営部) 港湾管理事務所(コンテナ)	荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備の維持管理(5082308)	荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備を点検・検査し、不良箇所の修理を行います。	公共ガントリークレーン稼働率(%)	99	99	100	100 継続事業	順調	継続	➡	➡	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	(建設部) 維持管理担当	維持管理計画(基本計画)の策定(5082309)	港湾施設を適切に維持管理するための供用期間、維持管理レベル(予防保全、事後保全)等の基本事項の設定を行います。	策定進捗率(%)				100(H20)	完了				
	(建設部) 維持管理担当	維持管理計画書の作成(5082310)	各施設の現状把握(目視、腐食調査、橋梁点検)に基づく、維持管理計画書の作成を行います。	維持管理計画書作成進捗率(%)	36.8	71.8	79.0	100(H24)	順調	継続	➡	➡	目標通りに計画を作成するため。
	(建設部) 施設工事担当	吹き付けアスベスト施設の点検(5082311)	本組合の所管する施設の内アスベストの使用された施設について、実施された定期点検報告を取りまとめます。	アスベスト測定対象施設の確認率(%)	100	100	100	100 継続事業	順調	継続	➡	➡	継続して点検する必要があるため。
	(企画調整室) 事業担当	弥富ふ頭道路(改良)整備事業(5082312)	車両走行の安全性と快適性を図るため、臨港道路を改良します。規模:延長2.9km、幅員3.5m×4~6車線	事業進捗率(累計)(%)	1.6	20.2	100.0	100(H23)	順調	完了			23年度にて事業完了見込みであるため。
○	(企画調整室) 事業担当	港湾施設の維持補修事業(5082313)	整備場所:名古屋港内 内容:港湾施設である係留施設(岸壁、船だまり、物揚場)及び臨港交通施設(道路、橋梁)等の維持補修	事業進捗率(累計)(%)		17.1	40.0	100(H26)	順調	継続	➡	➡	順次、施設を維持補修する必要があるため。
	(企画調整室) 事業担当	飛島ふ頭道路(改良)整備の事業化(5082314)	飛島ふ頭内の臨港道路改良及び交差点改良の事業化に向けて、関係者調整及び予算要求を行います。	要求額の予算化(回)			1	1(H23)	完了				23年度にて事業完了見込みであるため。
				施策コスト(事業費合計)	1,012,077	1,390,017	1,634,616						

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「継続事業」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則としてH24年度の中間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

H23年度以降の取組の方向性		平成23年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)	
取組の方向性	成果※3 ➡	コスト※4 ➡	・計画的な維持補修の実施が今後も必要であるため成果を維持とします。また安全対策上必要不可欠であるためコスト維持とします。
今後の展開方向(新規事業の創出、事務事業の見直し等)			
・事務事業構成を計画的な維持補修が必要なものみに見直すなど、より効果をあげるような展開が必要です。 ・また同様に港湾法改正に伴う港湾運営会社が設立された場合は、構成事務事業の見直しが必要となります。 ・小型船だまり計画の港湾計画の策定に関しては、目標年次を新たに25年度に設定し、準備を進めていきます。			

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

平成22年度行政評価のACTION(取組の方向性)を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
・現場管理においては利用者との調整を密に行い、迅速で効果的な補修を実施します。 ・緊急を要する維持補修工事については、より迅速な対応を図れるシステムづくりが必要です。 ・小型船だまり計画の策定(港湾計画の策定)については、国の港湾行政の指針となる基本方針が策定されるなど作業環境が整ってきたため、順次対応していく必要があります。	
構成事務事業の適正性(事務事業の構成内容が妥当かどうか。問題がある場合は具体的な修正案を記入。)	
・事務事業の構成が計画的維持から日常補修までと混在しており、整理が必要と思われます。	

個別施策23